



植柳防災まちづくりニュース【第2号】

植柳学区では、令和6年度から「**防災まちづくり**」に取り組んでいます。令和7年度は、夏に防災まちづくりに関する「第1回意見交換会」や地域行事で住民アンケートの調査を2回実施。現在は、植柳防災まちづくり計画の骨子案を検討しています。

「防災まちづくり」とは？

命と財産を守るために、
災害が起こる前から災害に強い
「まち」をつくる取組です。

※植柳学区は京都市の「**密集市街地**」に選定されています。災害時は、火が燃え広がったり、建物やブロック塀などの倒壊で道が塞がれ、避難や救助が困難になる危険があります。そのため、災害が起こる前から、自宅やまちの対策・整備をしておくことが大切です。

◎令和6年度の取組

植柳学区では、これまで以下のような取組を行なってきました。

○防災まちづくり計画の取組開始

令和6年度、防災まちづくりの取組を開始。自主防災会を中心に、地域役員と支援者とで事務局を結成し、月に1回程度運営会議を行っています。

○パネル展示と参加者アンケートの実施（写真：右上）

植柳学区の避難訓練（11/30）で、防災まちづくりの取組に関するパネル展示を行い、密集市街地の危険性や防災まちづくり活動について紹介。今後の予定や取組を知ってもらう他、参加者アンケートも行いました。



○防災まちあるきの実施（写真：右下）

2～3月全町内を対象に防災まちあるきを行いました。延べ83名の方が参加くださり、路地の避難経路や古いブロック塀がある危険箇所、消火器やAEDの設置状況等、現状把握を行いました。



裏面も見てね⇒

◎令和7年度の取組

◆7月12日「第1回意見交換会」の開催

第1回意見交換会を開催。令和6年度に実施した取組紹介と防災まちあるきで把握した地域の現状課題等を踏まえ、**参加者と、「自分や家族・地域でできること・できないこと」について意見交換を行いました。**「食糧・飲料水・携帯トイレの確保」「町内で情報共有」「路地奥の状況や危険なブロック塀の把握」等、たくさんの意見を出し合いました。



◆10月&12月「住民アンケート」「防災クイズラリー」の実施

植柳フェスティバル(10/14)ともちつき大会(12/7)で子育て層を中心とした住民のみなさんにアンケート調査と子ども対象の防災クイズラリーを行いました。**災害時、不安に感じることや日頃からしている防災上の備え・植柳学区の将来像などについて、計76件のご意見を集めることができました。**

【参加者の声(一部)】

○災害時不安に感じることとして、「火災」「避難路の安全」「食糧・飲料水の不足」「家族との連絡」など。
○日頃の備えとして、「食糧や水の備蓄」「避難持ち出し袋の準備」「自宅前に消火器や防火バケツを設置」「家族と連絡手段の確認」や「地域の方と情報交換」「避難路の把握」などが挙げられていました。



子どもたちが防災クイズラリー参加時に大人の方が、アンケートに回答してくれました。

植柳の将来像も調査しました。



答えは何か？

防災クイズラリーも盛況でした！

◎今後の予定

令和8年度は、防災まちあるきでわかった現状や課題を踏まえ、意見交換会で出た意見やアンケートでの回答を参考に「防災まちづくり計画書」策定に向け進めていく予定です。

時期	取組内容
4月	○自治連合会総会(令和7年度の活動報告・令和8年度の活動計画)
6月21日	○第2回意見交換会(防災まちづくり計画骨子案を元に、意見交換)
7月以降	○防災まちづくり計画策定に向けた取組(令和9年1月頃、策定予定)

◎問い合わせ先 防災まちづくりに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

075-222-3503 (京都市都市計画局まち再生・創造推進室)

090-1887-9690 (自治連合会：寺村)

発行：植柳自治連合会(2026年5月)